

議案第 1 号

平成20年度沖縄県教育委員会の点検・評価について

平成20年度沖縄県教育委員会の点検・評価に関する報告書を別紙のとおり作成する。

平成21年 1月 21日

沖縄県教育委員会

平成 21 年 2 月定例県議会提出

**平成 20 年度**  
**沖縄県教育委員会の点検・評価に**  
**関する報告書 (案)**  
**(平成 19 年度対象)**

**沖縄県教育委員会**

# 報 告 書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 27 条の規定に基づき、平成 19 年度における沖縄県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価の結果を次のとおり報告します。

平成 21 年 2 月

沖縄県教育委員会委員長 比 嘉 梨 香

政策目標における成果指標及びその達成状況等一覧

政策目標における成果指標名	単位	H13(基準)	H17	H18	H19			H23	
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(目標値)	(達成度%)	(目標値)	
<b>1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の形成</b>									
(1)生涯学習推進体制組織の設置率	%	25.0	32.8	32.8	45.0	45.0	↑	100.0	60.0
(2)県・市町村の講座の修了者数	人/年	26,876	29,231	42,549	59,793	35,000	↑	170.8	40,000
<b>2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実</b>									
(1)高校進学率	%	92.7	95.4	95.2	94.8	96.5	↑	98.2	97.3
(2)大学等進学率	%	31.1	31.1	33.6	33.5	35.0	↑	95.7	40.0
(3)就職内定率(高校)	%	56.8	84.1	86.4	86.7	85.0	↑	102.0	90.0
(4)小学校達成度テスト	点	41.3	43.1	41.0	41.2	40.0	→	103.0	40.0
(5)中学校達成度テスト	点	36.1	33.8	32.4	31.4	40.0	→	78.5	40.0
(6)児童生徒の体力・運動能力テスト(小中高平均)	点	48.0	47.6	48.2	48.4	49.3	↑	98.2	49.8
(7)中学生社会経験事業実施率	%	77.8	100.0	100.0	100.0	100.0	→	100.0	100.0
(8)就業体験実施率	%	42.6	100.0	100.0	100.0	100.0	→	100.0	100.0
(9)中・高等学校の運動部加入率	%	49.0	51.4	51.7	51.0	52.0	↑	98.1	54.0
<b>3 国際社会に生きる人材及び情報活用能力の育成</b>									
(1)小学校における英語教育導入校数	校	0	275	274	274	274	→	100.0	274
(2)外国青年招致人数(ALTのみ)	人/年	77	110	104	101	121	↑	83.5	180
(3)高校生海外留学生派遣人数	人/年	50	35	33	28	40	→	70.0	40
(4)教員のICT活用指導力	%	53.0	95.1	73.2	75.0	100.0	→	75.0	100.0
(5)教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	人/台	12.2	6.9	6.5	6.4	5.4	↓	88.5	5.0
<b>4 豊かな心を持ち、夢・実行力のある青少年の健全育成</b>									
(1)青少年の地域活動体験活動への参加数	人/年	76,000	123,000	139,900	129,000	126,600	↑	101.9	146,000
(2)学校支援ボランティア活用校	%	74.8	88.6	83.6	89.1	93.0	↑	95.8	95.0
<b>5 家庭・地域の教育機能の活性化</b>									
(1)図書貸出冊数(県民1人当たり)	冊/年	3.0	3.5	3.4	3.3	3.6	↑	91.7	4.0
(2)社会教育指導者等養成講座の受講者数	人/年	2,300	1,116	1,576	1,749	2,600	↑	67.3	2,800
(3)家庭教育講座、研修会への参加者数	人/年	2,444	32,806	42,040	33,349	6,400	↑	521.1	6,900
<b>6 健康な体をつくり県民が輝くスポーツの振興</b>									
(1)県立社会体育施設利用者数	千人/年	398	424	542	552	450	↑	122.7	1,000
(2)学校体育施設の開放状況	%	65.5	59.1	61.3	62.0	76.0	↑	81.6	82.0
(3)沖縄県スポレク祭の参加者数	人/回	11,381	14,059	11,786	10,850	13,900	↑	78.1	14,000
(4)総合型地域スポーツクラブ数	団体(累計)	1	3	17	21	15	↑	140.0	41
<b>7 豊かな感性を育む文化の振興</b>									
(1)文化財の指定件数	件(累計)	1,202	1,252	1,271	1,288	1,260	↑	102.2	1,300
(2)史跡の整備件数	件/年	14	15	15	15	17	↑	88.2	18
(3)国立劇場入館者数	千人/年	—	49	56	56	50	↑	112.0	54
<b>8 新しい時代を展望した教育行政の充実</b>									
(1)教育委員と地域住民等との意見交換会の数	回	—	—	—	1	1	↑	100.0	2
(2)衛生委員会の設置	箇所	—	—	—	68	76	→	89.5	76

※目標値について、↑は増加目標、→は維持目標、↓は減目標

平成20年度 点検・評価総括一覧表（評価対象年度：平成19年度）

（評価） A：妥当、B：ほぼ妥当、C：一部見直し、D：全面的見直し

政策目標	成果指標（単位）	関連指標	施策	評価	施策の評価結果説明（理由、課題等）（要約）	平成21年度の施策展開方針（要約）
1 潤いのある生きている生涯学習社会の形成	01 生涯学習推進体制組織の設置率(%)	01	(1)生涯学習推進体制の充実	B	・第2次生涯学習推進計画の施策を点検・見直し、「第2次沖縄県生涯学習計画（後期）」を作成 ・生涯学習推進本部の活性化を図り、実効性を高めることが課題	・総合行政としての実行ある県行政システムの構築 ・行政及び関係機関、団体等のネットワークの構築 ・第5期沖縄県生涯学習審議会の開催 ・県民力レッツによる学習機会の提供 ・「沖縄県生涯学習情報提供システム」利用促進
	02 県・市町村の講座の修了者数(人/年)	02	(2)県民の学習ニーズに応える学習機会の拡充	B	・講座修了者数が19年度目標値を達成した ・「沖縄県生涯学習情報提供システム」の利用促進のための整備充実が課題	
2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実	03 高校進学率(%)	09	(1)豊かな心を培う教育の推進	B	・豊かな体験活動推進事業の推進や「夢チヤレンジ社会体験事業」の取組 ・人権教育、平和教育、幼雅園教育等の研究指定、その研究成果の普及	・心の教育の充実、豊かな体験活動推進事業及び豊かな進路選択事業の推進し、人権教育、平和教育、幼雅園教育の充実を図る
	04 大学等進学率(%)	10	(2)確かな学力を身に付ける教育の推進	B	・学力向上主要施策に基づく学力向上対策、達成度テストで小学校は目標値を上回っているが、中学校は未達成の状況 ・各教科で知識・技能を「活用する力」は全国との差が大きい	・自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」の育成 ・創意工夫を生かした教育活動を展開し、確かな学力の定着向上を図る
	05 就職内定率(高校)(%)	06	(3)たくましくまい心と体を育む教育の推進	B	・学校・地域保健連携や学校体育推進事業の実施 ・安全教育では、地域安全や「つくりと安全対策」を実施 ・高校総体開催に向けた調理師及び選手強化の推進 ・新体力テストは、昨年より0.2ポイント上昇	・地域専ら連携事業、学校体育推進事業等の充実強化、食に関する指導の充実、体力向上対策、高校総体実行委員会を中心にリー・ハル大会の開催や選手強化等の事業の推進
	06 小学校達成度テスト(点)	07	(4)個性を大切にする教育の推進	B	・各学校の取り組みの強化により就職内定率(高校)が86.7%と目標を達成 ・本県で初めての併設型中高一貫校の開設	・個に応じた指導の充実、体験的な学習等の一層の充実、小中高校の発達段階に応じたキャリア教育の推進 ・障害のある児童生徒の教育ニーズに応じた教育支援
	07 中学校達成度テスト(点)	08	(5)世界と手をつなぐグローバルな教育の推進	B	・「沖縄県・ハワイ州高校生交流事業」、「専門高校生国外派遣研修事業」の実施 ・環境づくりや環境保全に配慮できる人材育成を図るための環境教育の実施	・異文化を理解する態度や資質、能力の育成を図る ・国際理解教育の推進 ・体験的な活動を重視した環境教育の推進と地域人材等の積極的活用
	08 児童生徒の体力・運動能力テスト(小中高平均)(点)	09	(6)魅力ある学校づくりの推進	B	・各学校の取組の強化により就職内定率(高校)が向上 ・教職員を支援していくための教職員評価システムの推進が必要 ・県立学校編成整備等の推進	・学校評価結果の公表など、地域に開かれた学校づくり ・教職員評価システムの推進、魅力ある学校づくりの推進 ・安全で快適な学習環境の実現を図る校舎等の整備
	09 中学生社会体験事業実施率(%)	10	(1)国際社会に活躍する人材育成の推進	B	・小学校における英語教育 ・外国人青年招致人数(人/年) ・高校生海外留学生派遣人数(人/年)	・小学校から高等学校まで継続した英語教育の推進及び実践的コミュニケーション能力の育成 ・語学指導を行う「外国青年招致事業」の拡充 ・国際的に豊かな人材育成のため、高校生、教員等を諸外国に派遣
	10 就業体験実施率(%)	11	(2)情報化に対応した教育の推進	B	・県立学校のICT環境の整備はほぼ目標を達成、小中学校においては地域間に格差がある ・教員のICT活用指導力について、全庁「G」において全国3位である	・ICT環境の整備・充実、教員のICT指導力の向上、ICT教育の充実、校務の情報化、へき地教育の情報化等の推進
	11 中・高等学校の運動部加入率(%)	12	(1)豊やかな青少年を育む地域活動・体験活動の拡充	B	・学習、スポーツ、文化、交流活動等様々な体験活動を行う「放課後子ども教室推進事業」を実施 ・高校生を中心とした活動を実施	・学校・家庭・地域社会と連携を図りながら、青少年に様々な体験活動の機会を拡充し、青少年の自己の確立と社会の一員としての成長を支援する
	12 小学校における英語教育導入校数(校)	13	(2)ユイマール精神でつなぐ学校・家庭・地域社会の連携	A	・問題を抱える青少年への支援等、地域やボランティア等の人材を活用し、青少年の健全育成、地域教育力の向上、学校教育の活性化や特色ある学校づくりの支援に努めた	・各中学校区において学校支援地域本部を設置し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進 ・すべての地域住民が参加するクリーン活動や勤万人のふれあい活動をおこなって「地域の子どもは地域で育てる」気運の醸成を図る

(評価) A:妥当, B:ほぼ妥当, C:一部見直し, D:全面的見直し

政策目標	成果指標(単位)	関連指標	施策	評価	施策の評価結果説明(理由、課題等)(要約)	平成21年度の施策展開方針(要約)
5 家庭・地域の教育機能の活性化	19 図書貸出冊数(県民一人当たり)(冊/年)	19 20 21	(1)生き生きとした活動を支える社会教育基盤の整備・充実	B	・子どもの読書推進計画を策定し、県民1人あたりの図書貸出冊数は概ね目標を達成 ・社会教育指導者の養成・確保・資質向上のための研修を計画的に実施	・「ウチノコ」を活用した図書館情報提供システム、視聴覚TV7チャンネルの整備 ・県立図書館の施設設備や蔵書の充実 ・PTA、婦人、青年、少年団体等の社会教育指導者の養成、及び資質向上のための研修の充実
	20 社会教育指導者等養成講座の受講者数(人/年)	20 21	(2)時代のニーズに応える社会教育の充実	B	・時代のニーズに応える社会教育研究会、公民館研究会の実施による地域の社会教育の実践交流の促進 ・研修事業による地域の課題に即した学習機会の提供	・社会教育研究会の開催などを通じた社会教育の実践交流による社会教育の振興 ・生涯学習の学習機会を捉えて人権に関する研修の促進
	21 家庭教育講座、研修会への参加者数(人/年)	20 21	(3)しつけ・心の触れあいのある家庭教育機能の充実	B	・家庭教育力アップセンター研修会、巡回相談、親子電話相談事業、家庭教育支援総合推進事業等を実施	・難島での巡回相談や親子相談事業、地域リーダー対象の研修会や子育て中の親を対象にした講座等の学習機会の提供及び相談体制の充実
	22 県立社会体育施設利用者数(千人/年)	22 23 24 25	(1)県民一人一人が輝く生涯スポーツの推進	B	・7つの祭や学校体育施設開放等で県民の生涯スポーツ振興の推進 ・総合型地域スポーツクラブの創設、育成は、成果が上がっている	・総合型スポーツクラブの創設、育成の促進 ・7つの祭への派遣、学校体育施設の開放 ・多様なスポーツ・レジャーに対応できる指導者の養成や育成
	23 学校体育施設の開放状況(%)	22	(2)県民に夢と希望を与える競技スポーツの推進	B	・国体等への選手派遣、スポーツ指導者の養成等の事業の実施、全国高校総体競技力向上推進本部を設置、競技力向上及び支援体制の充実が図られた ・中長期的な競技力向上の取組が必要	・国民体育大会、九州プロボクシング大会への選手派遣 ・平成22年度本県開催の全国高校総体に向けて、高体連等と連携し、ジュニア世代の競技力向上の施策を展開する
7 豊かな感性を育む文化の振興	24 沖縄県スポーツレク祭の参加者数(人/回)	22 24	(3)社会体育施設の整備・充実	B	・旧水泳プールの解体・撤去及び新プールの建築工事の発注 ・平成22年度開催の高校総体を見据えた施設の整備が必要	・全国高校総体の開催に向けて、改装・改修した各競技施設の公認の取得 ・各競技会場(県有施設)の備品等の整備
	26 文化財の指定件数(件/県計)	26 27	(1)文化財の保護と活用	B	・文化財の指定・管理及び保存整備、在外文化財の調査、伝承者養成、埋蔵文化財の発掘調査、保存、公開、普及啓発等、概ね予定どおり実施	・文化財の指定・管理及び保存整備、埋蔵文化財の発掘調査や在外文化財の継続調査、伝承者養成 ・文化財の活用について、観光等の関係部局との検討
	27 史跡の整備件数(件/年)	28	(2)文化施設の整備・充実と芸術文化活動の推進	A	・県立博物館・美術館が平成19年11月に開館 ・県立芸術の鑑賞機会の提供については、児童生徒の文化芸術への関心、表裏力を高めることに審判しており、十分な予算の確保が必要	・沖縄の自然や歴史、文化、芸術等の発信拠点として県立博物館・美術館の活用を促進 ・児童生徒への舞台芸術鑑賞機会の提供による文化芸術活動への気運の醸成と健全育成、学校における文化芸術活動推進の支援
	29 教育委員と地域住民等との意見交換会の開催数(回)	29	(1)教育委員会の充実	B	・PTA関係者、公安委員等との意見交換会を年1~2回程度実施	・今後、現場の意見反映のため、教育委員と地域住民、市町村教育委員、学校教職員と意見交換を年2回程度実施
	30 衛生委員会の設置(箇所)	30	(2)福利厚生者の充実	B	・生涯生活設計セミナーの開催、介護講座の開催 ・教職員住宅の管理運営・維持補修の実施 ・難島地域の民間住宅の借り上げ実施	・教職員の生涯生活設計を支援するため、生涯生活設計セミナーの開催、介護講座の開催